

スカパーJSATグループ  
2017年度 通期決算説明会

2018年5月10日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

# 将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

## 《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

## 《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

## 《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- システムに関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

# 通期連結決算概要

# 損益概要

- 防衛省向け衛星の引渡しが2018年4月に期ずれし、3月20日業績予想修正
- 宇宙・衛星事業の前期に計上した防衛省への衛星引渡しによる売上剥落、メディア事業の加入者減少に伴う視聴料収入減により、前年同期比、減収減益

(単位:百万円)

	2016年度 通期累計	2017年度 通期累計	増減率	3月20日発表 業績予想
営業収益	192,875	145,501	△24.6%	145,400
営業利益	24,433	15,652	△35.9%	15,000
経常利益	24,875	16,712	△32.8%	16,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	17,415	11,353	△34.8%	11,000
EBITDA *1	47,724	43,032	△9.8%	—

\*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

# セグメント別連結業績の推移(2016年度 1Q ~ 2017年度 4Q)

- メディア事業は、視聴料収入減少により、対前年同四半期比、減収減益
- 宇宙・衛星事業は、前年同四半期に防衛省向け衛星の引渡しがあり、減収減益

(単位:百万円)

	2016年度					2017年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	39,707	39,610	38,806	74,750	192,875	37,195	36,525	35,762	36,018	145,501
メディア事業	30,095	29,882	29,130	27,668	116,777	27,424	26,828	25,925	25,620	105,798
宇宙・衛星事業	12,626	12,718	12,580	49,822	87,748	12,524	12,428	12,459	12,987	50,400
消去又は全社	△3,013	△2,990	△2,905	△2,740	△11,650	△2,754	△2,731	△2,622	△2,589	△10,697
営業利益	6,266	4,795	4,468	8,903	24,433	4,334	4,547	3,233	3,536	15,652
メディア事業	1,861	1,023	1,135	551	4,571	1,005	1,448	239	541	3,233
宇宙・衛星事業	4,585	3,937	3,488	8,515	20,527	3,531	3,430	3,034	3,141	13,137
消去又は全社	△180	△165	△155	△164	△665	△202	△331	△40	△145	△719

# メディア事業の主要指標<sup>(\*)</sup>

- 2017年12月開始のスカパー！新基本パック複数台無料キャンペーンの好結果を受け、新規加入件数は前年度を上回る37万件を獲得
- 純増減数は3サービス合計で5.7万件の純減

	2016年度	2017年度
新規加入件数(万件)	35.0	37.0
純増数(万件)	△16.2	△5.7
累計加入件数(万件)	332.0	326.2
加入者月額支払単価(¥)	3,291	3,219
ARPU(¥)	2,133	2,040
SAC単価(¥)	39,274	33,353

※スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

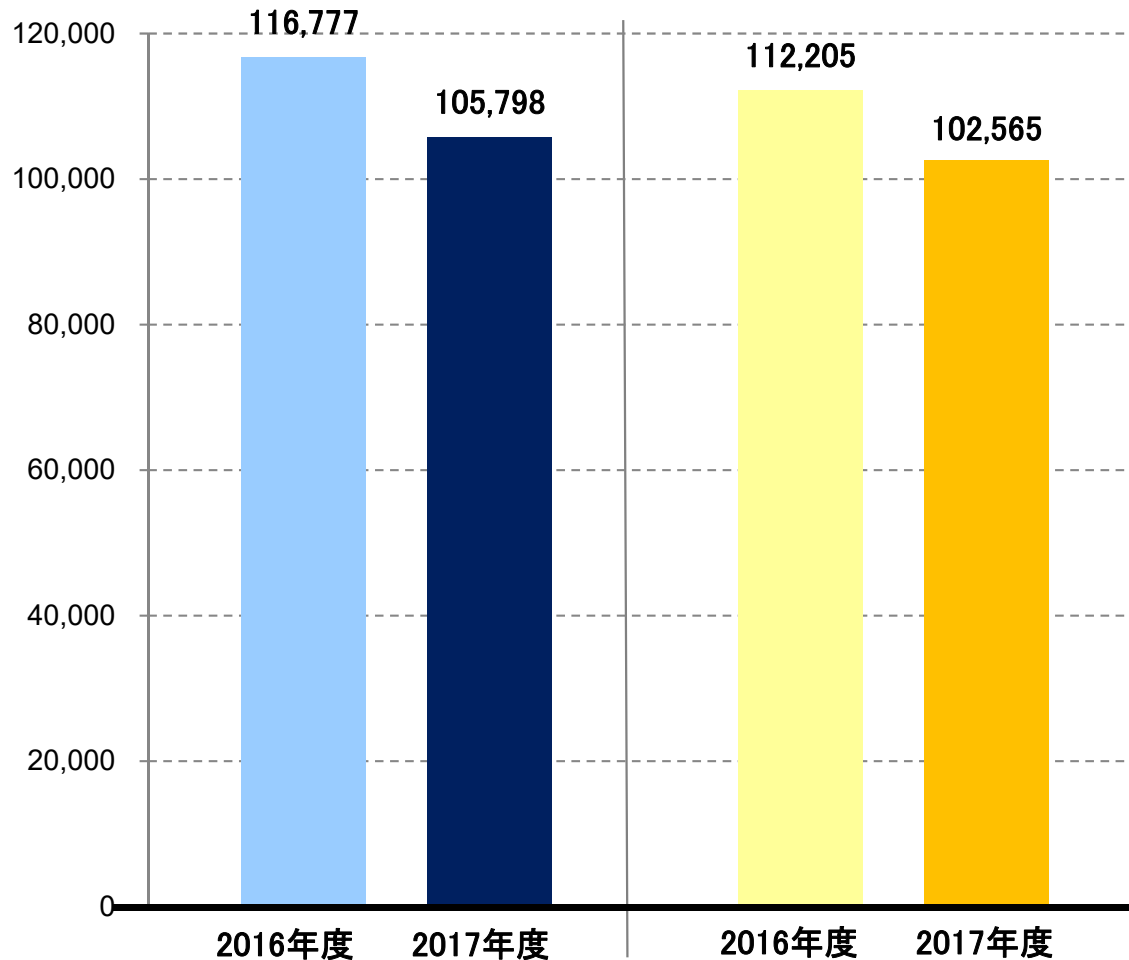
# メディア事業の業績概況：前年同期比

## メディア事業

### 営業収益

### 営業費用

(単位：百万円)



営業収益(▲110億円)\*

#### <主な増減要因>

\* セグメント間内部取引を含む

- サッカー関連コンテンツ収入の減少：△52億円
- 視聴料収入の減少(サッカー除く)：△36億円
- 基本料その他の収入の減少：△22億円

営業費用(▲96億円)\*

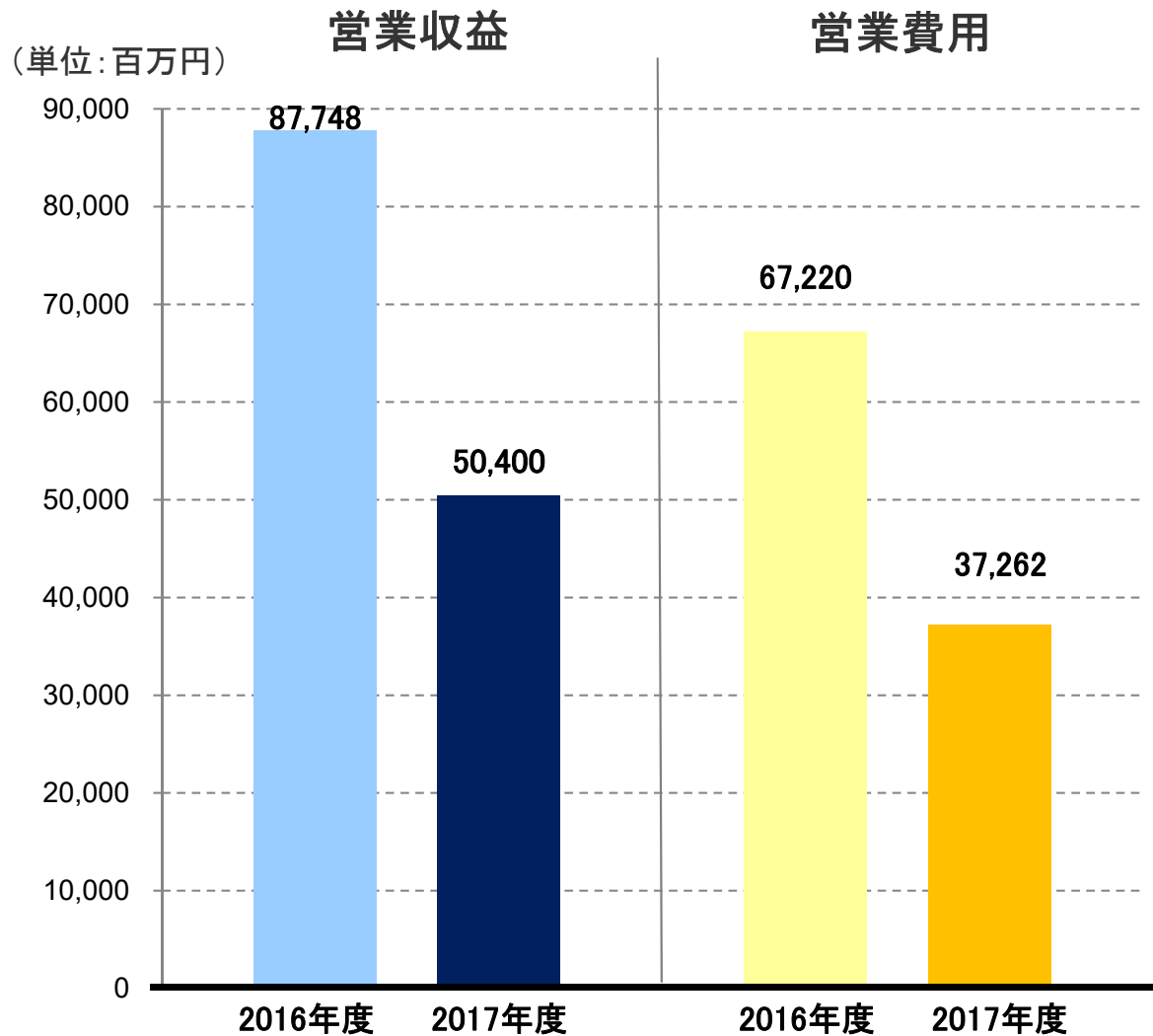
#### <主な増減要因>

\* セグメント間内部取引を含む

- サッカー関連コンテンツ費用の減少：△47億円
- 番組供給料の減少：△23億円
- その他費用の減少：△26億円

# 宇宙・衛星事業の業績概況：前年同期比

## 宇宙・衛星事業



営業収益(▲373億円)\*

### <主な増減要因>

\* セグメント間内部取引を含む

- 通信衛星及び関連設備の売却の剥落：△369億円
- 放送トランスポンダ収入の減少：△7億円
- その他収入の増加：+3億円

営業費用(▲300億円)\*

### <主な増減要因>

\* セグメント間内部取引を含む

- 衛星事業原価等：△316億円
- 減価償却費の増加：+16億円



# 2018年度業績予想

# 2018年度連結業績予想

- 2018年度は、前年度比、営業収益15.8%増、営業利益5.4%増

(単位:百万円)

	2017年度 通期実績	2018年度 通期予想	増減率
営業収益	145,501	168,500	15.8%
営業利益	15,652	16,500	5.4%
経常利益	16,712	17,000	1.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	11,353	11,500	1.3%
EBITDA	43,032	42,000	△2.4%

EBITDA=(当期純利益)+(税金費用)+(減価償却費)+(のれん償却額)+(支払利息)

# 2018年度セグメント別業績予想

## ■ メディア事業

加入件数の減少、コンテンツ費用及び広告宣伝費等の削減により、減収増益の見込み

## ■ 宇宙・衛星事業

防衛省向け衛星の打ち上げ成功(4月6日)、衛星減価償却費の減少(JCSAT-5A)により、増収増益の見込み

(単位:百万円)

	2018年度(通期予想)			連結合計
	メディア事業	宇宙・衛星事業	消去又は全社	
営業収益 (対前年度比)	103,900 (△1,898)	75,300 (+24,899)	△10,700	168,500 (+22,998)
営業費用 (対前年度比)	100,400 (△2,165)	61,700 (+24,437)	△10,100	152,000 (+22,150)
営業利益 (対前年度比)	3,500 (+267)	13,600 (+462)	△600	16,500 (+847)

# 2018年度加入目標

- 主力のスカパー！（110度衛星）では件数維持
- スカパー！プレミアムサービス（124/128度衛星）は解約防止強化

（単位：万件）

	2017年度 加入実績	2018年度 加入目標
前年度末 累計加入件数	332.0	326.2
新規+再加入件数 合計	54.9	53.2
スカパー！	46.6	46.3
スカパー！プレミアムサービス	7.2	5.7
スカパー！プレミアムサービス光	1.1	1.2
解約率 ※	18.3 %	17.9%
純増数（件数）	△5.7	△5.2
年度末 累計契約者数（件数）	326.2	321.0
スカパー！オンデマンド		
年度末 有料商品契約者数（件数）	2.8	3.5
累計登録者数（件数）	133.8	146.8

## ■ 競争環境

- 既存の有料放送市場が成熟し、インターネット動画配信サービスが次々と参入
- コンテンツ獲得および加入者獲得の両面で競争が激化

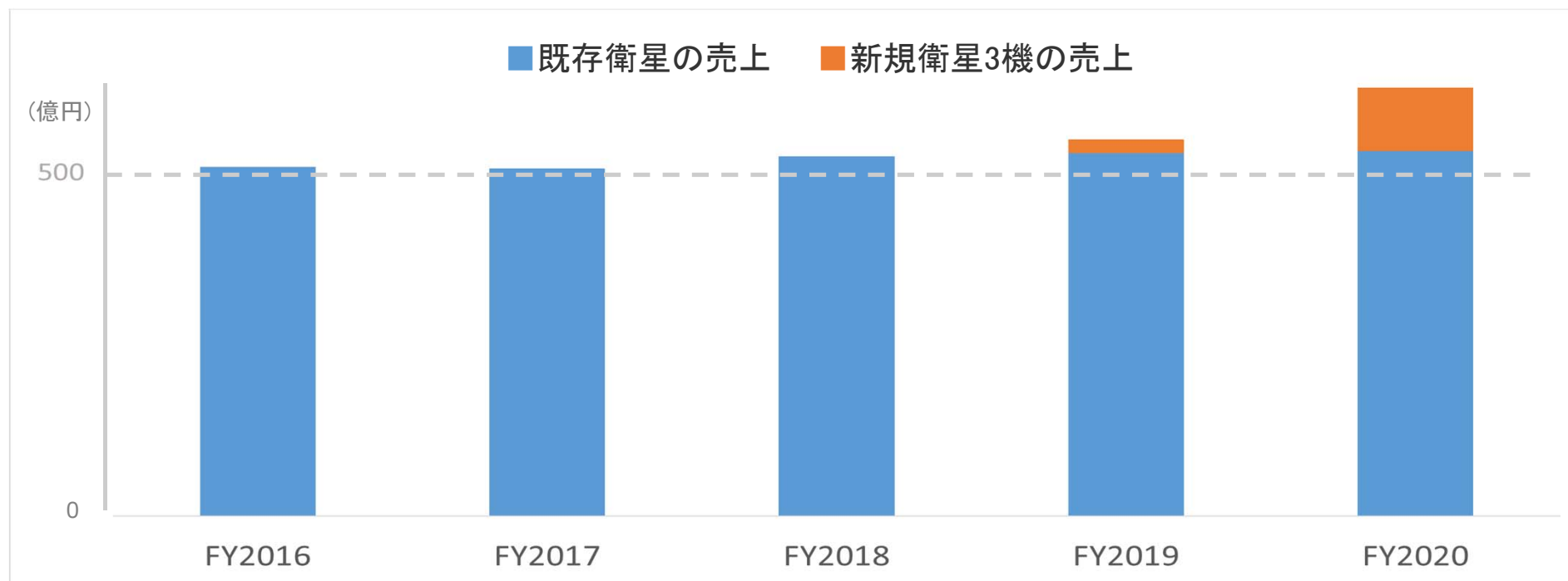
## ■ 営業利益の継続的確保

- 加入者数減少においても、中期的に一定の営業利益を確保
  - プラットフォーム事業のコスト構造見直し
  - 自主チャンネルを中心とするコンテンツ事業の収益性改善

# 宇宙・衛星事業 新規衛星投入による収益拡大

- 新規衛星3機を含め、2020年度に約600億円の営業収益を目指す

衛星名称	想定顧客	特徴	打上時期
Horizons 3e	航空機・船舶携帯バックホール等	Intelsat社共同衛星(HTS)	2018年度下期 ※調整中
JCSAT-18	航空機・船舶携帯バックホール等	Kacific社共同衛星(HTS)	2019年度下期
JCSAT-17	NTTドコモが主に利用予定	移動体通信用大型アンテナ搭載	2019年度下期



※FY2016及びFY2018は、通信衛星及び関連設備の売却等による売上を除く

# 2018年度投資計画

## ■ 宇宙・衛星事業を中心に積極的な設備投資を継続

(単位:億円)

	2017年度 実績	2018年度 見込み	差異	備考
① 設備投資額	159	266	+107	
内訳:     メディア事業	56	150	+94	東京メディアセンター既存 設備更新、4K関連投資他
宇宙・衛星事業	91	114	+23	JCSAT-18他
その他	12	2	△10	
② 事業投資・ プロジェクト投資	104	163	+59	Horizons 3e他
③ 営業CFに含まれる投資	134	192	+58	JCSAT-17、DSN-1
①+②+③ 投資合計	397	621	+224	

想定為替レート: 1ドル=110円、1ユーロ=130円

# 2018年度減価償却費

- メディア事業は、東京メディアセンター既存設備更新などによる減価償却費増
- 宇宙・衛星事業は、JCSAT-5Aの減価償却終了

(単位:億円)

	2017年度実績	2018年度見込み	差異
<b>減価償却費</b>	<b>234</b>	<b>225</b>	<b>△9</b>
内訳:     メディア事業	72	78	+6
宇宙・衛星事業	158	147	△11
その他	4	0	△4

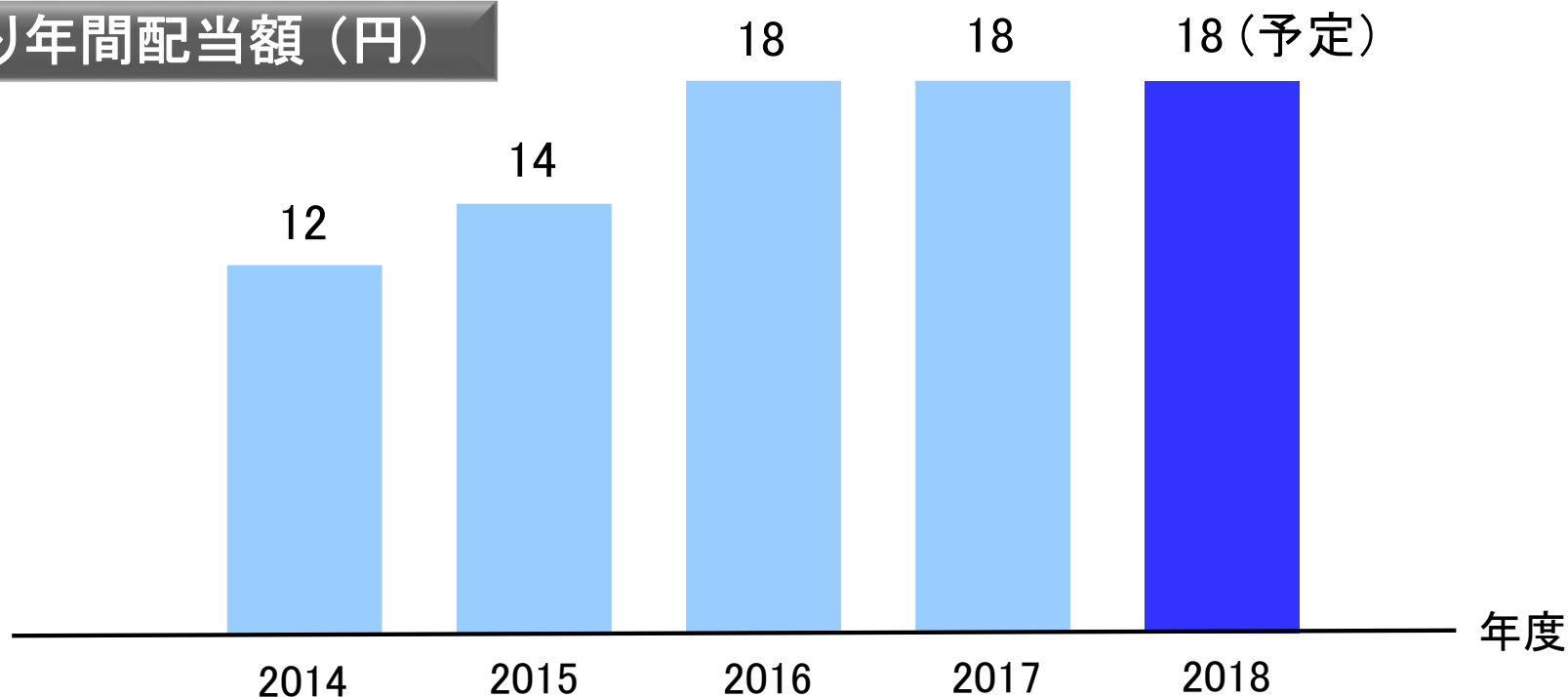


# 2018年度配当方針

【配当方針】以下の条件を満たす配当額を実施  
1株あたり年間 16 円以上、配当性向 30 %以上

2018年度は、1株あたり年間18円の配当を実施予定

1株あたり年間配当額（円）



今後の取り組み  
～メディア事業～

① 魅力あるコンテンツ・商品の追求



② お客様にとってのスカパー！価値向上



## 契約期間の長期化、解約者の減少へ

---

③ 新規サービスなど、更なる収益への取り組み継続

# ① 魅力あるコンテンツの追求

## ■ プロ野球

2018シーズン セ・パ 12球団公式戦

巨人・広島主催試合含む全試合生中継



写真提供: 広島東洋カープ

J SPORTS  
「J SPORTS STADIUM 2018」

## セ・パ交流戦も全試合生中継



©SoftBank HAWKS

6月 FOXスポーツ&エンターテインメント  
「2018 HAWKS BASEBALL PARK プロ野球セ・パ交流戦」

## ■ ゴルフ



©Getty Images

6月 ゴルフネットワーク  
全米オープンゴルフ選手権

## ■ サッカー



写真: アフロ 写真: 千原地/アフロ 写真: Laci Perenyi/アフロ

ブンデスリーガ 18/19シーズン

## ■ オリジナルドラマ



©福本伸行/竹書房/スカパー!

BSスカパー!オリジナル連続ドラマ  
「アカギ〜鷲巣麻雀完結編〜」

## ② お客様にとってのスカパー！価値向上

### スカパー！新基本パック複数台無料キャンペーン

- ・ 加入件数は前年度比 **157%** と大幅増！  
(※12月～3月期の新規加入＋再加入件数)
- ・ **2018年9月まで延長**
- ・ 視聴料【1台目】 3,672円/月  
【2、3台目】 1,836円/月(通常) ➔ **期間中 0円**

基本パック スカパー！新基本パックが1台分の料金で

**テレビ3台目まで追加料金なし!**

大好評につき、**9月末まで延長決定!**

**満足度90%以上、おかげさまで皆さまより好評の声を頂いています。**

お得で、便利で、ストレスフリー! (40代男性)  
家族が好きな時に好きな番組を好きな部屋で楽しめる (50代男性)  
録画のとりこぼしなくなった (40代女性)

**満足度 90.5%**

利用世アンケート結果より、「満足している」「まあ満足している」の合計 / 2018年1月実施 有効回答数464名 当社調べ (調査協力: マクロミル)

### お客様との新たな接点

- ・ スカパー！に続き、スカパー！ハイブリッドをプレミアムサービスへも導入！

スカパー!  
Hybrid



※2018年12月予定

### 新たなオウンドメディアサイト

- ・ あらゆる人にフォーカス！
- ・ 番組出演者を中心とする著名人インタビューなど最新情報を毎日発信！

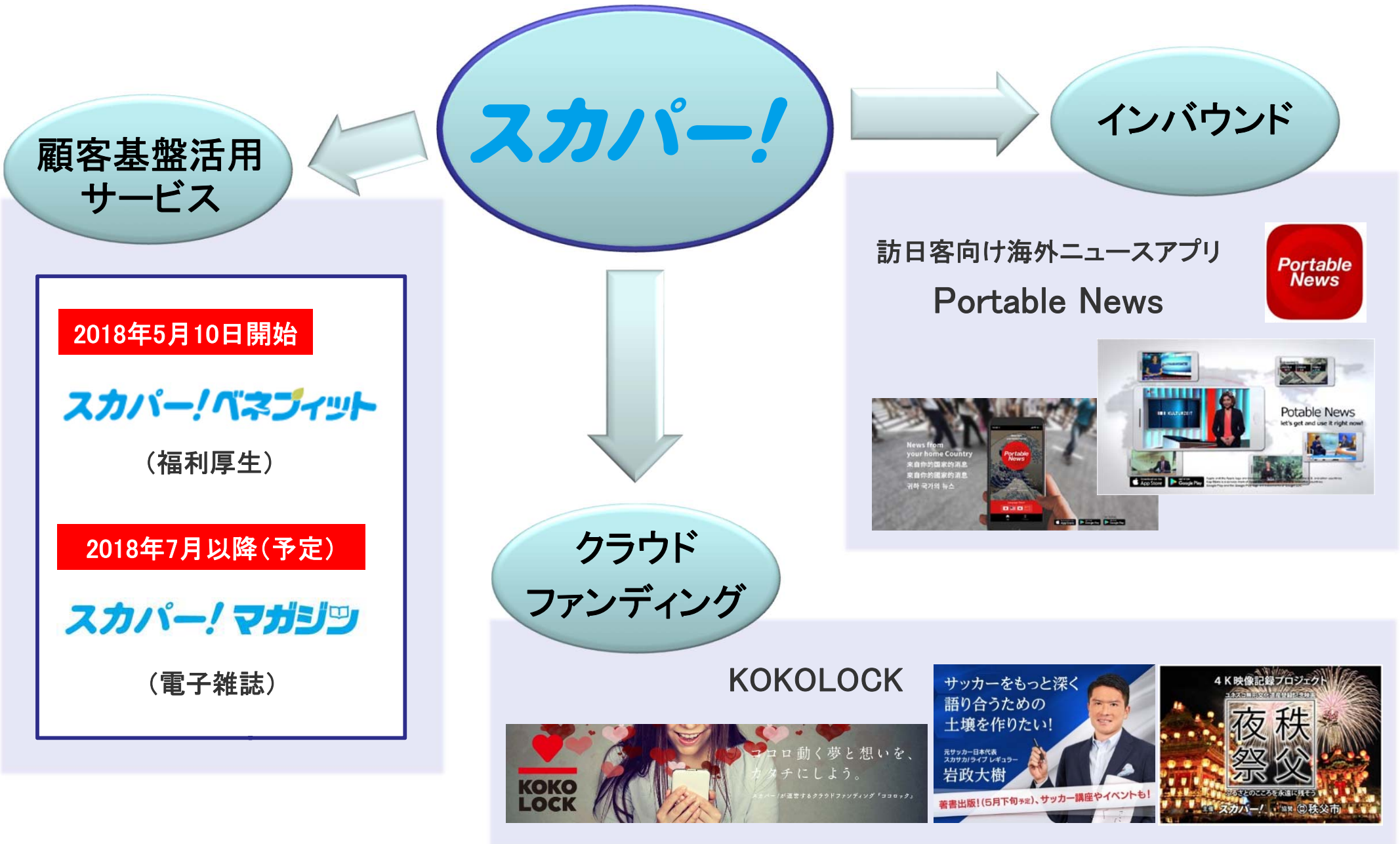


「人」= HOMINIS(ラテン語)

『はじめてのたけし』  
BSスカパー！で放送中



# ③ 新規サービスの展開



# 放送サービス高度化への取り組み

## ■ 4K放送への取り組み

スカパー!



- 2018年12月、110度CS左旋偏波4K放送開始(8ch)
- BS右旋偏波4KチャンネルをFTTH(フレッツ・テレビ)同時再放送

スカパー!

プレミアムサービス

- 4Kチャンネル(3ch)を現在放送中



## ■ サービスの高画質化

スカパー!

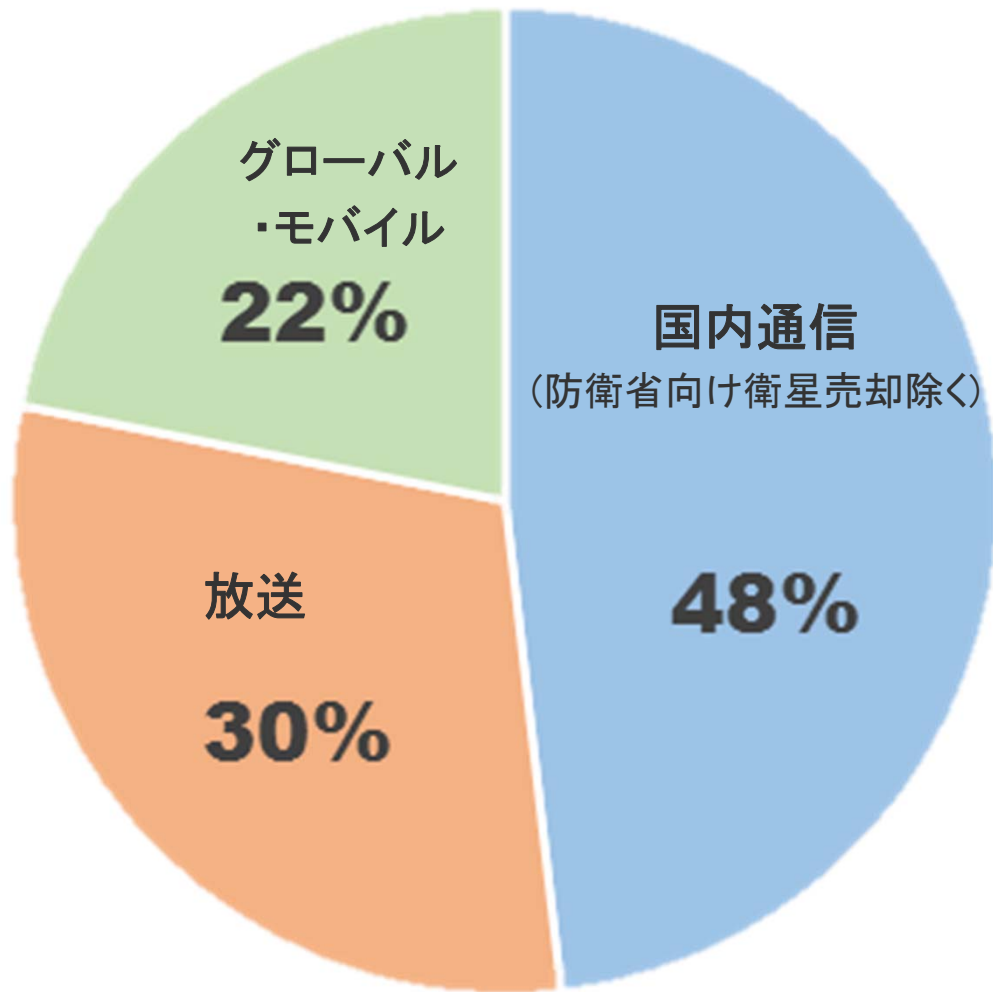
- 新規開局チャンネル(2ch): Mnet / エンタメ〜テレHD☆シネドラバラエティ
- ハイビジョンチャンネルの最大化(2018年5月総務省認定予定)
- 新基幹商品販売: 2018年10月開始予定

Mnet



今後の取り組み  
～宇宙・衛星事業～





## ■ 国内通信

- 官公庁など既存顧客中心に堅調
- 携帯キャリアによる利用が増加

## ■ 放送

- 放送事業者(外部)による衛星利用は安定

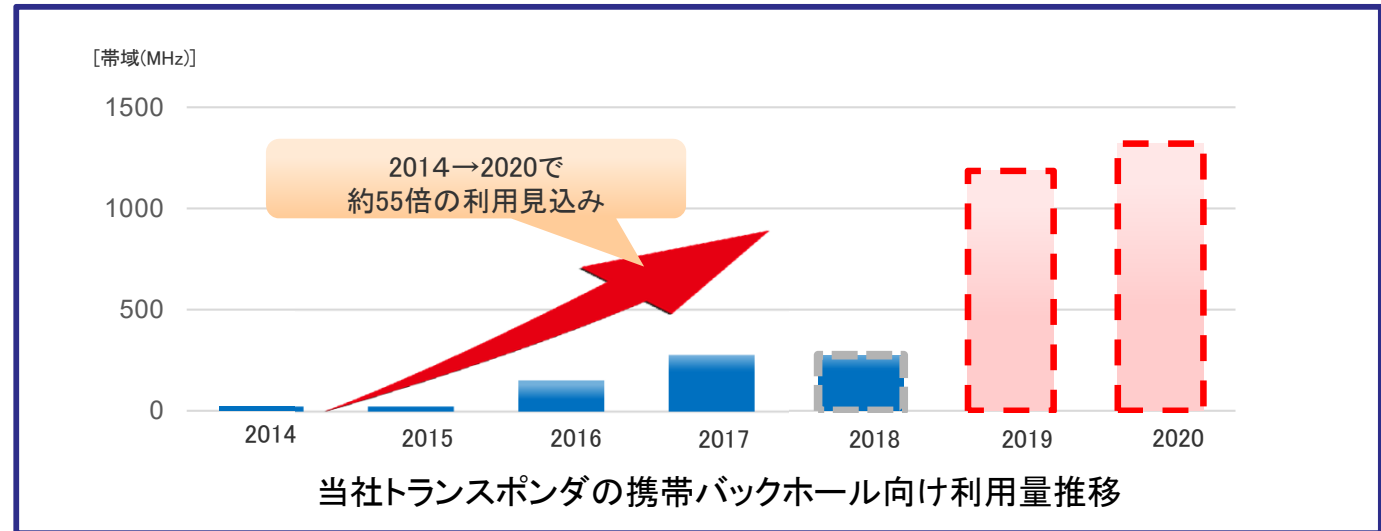
## ■ グローバル・モバイル

- グローバルは、東南アジアを中心に価格競争激化
- モバイルは、航空機向けインターネット回線利用が成長

# 新規3衛星の利用計画

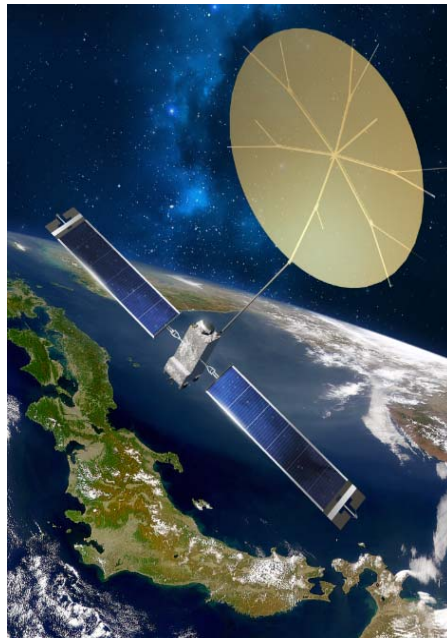
## Horizons 3e

- 携帯バックホール向けのサービス提供の確定



## JCSAT-17

- 国内向け衛星
- NTTドコモによる長期利用が決定



©Lockheed Martin

## JCSAT-18

- 航空・船舶市場向けにJCSAT-18活用を推進
- 海洋ブロードバンドサービス『OceanBBplus』提供開始、同サービス提供パートナーKVH社へ出資し連携強化  
(※本サービスへのJCSAT-18利用は検討中)



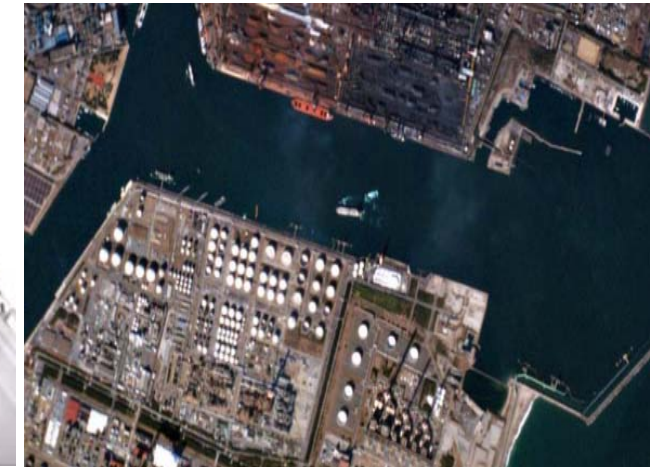
郵船クルーズ(株)の客船「飛鳥II」にてOceanBBplusサービスを利用

# 新領域への取り組み①

## 海外企業との協業による低軌道衛星サービス提供

### 衛星画像データビジネス

- Planet社衛星画像の提供
- Orbital Insight社との協業



© 2018 Planet Labs Netherlands BV. All rights reserved

### 低軌道衛星向け地上局サービス

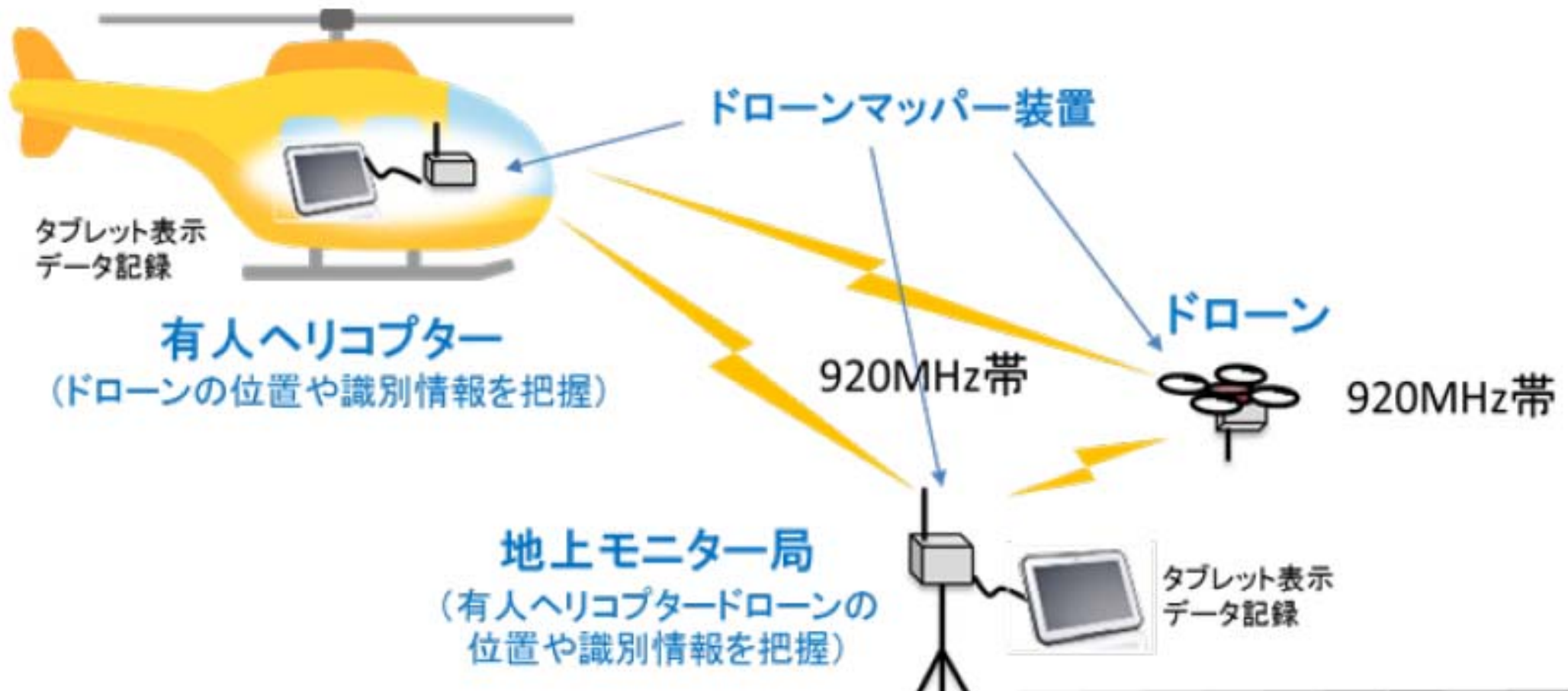
- 最大手Kongsberg Satellite Services (KSAT)社と連携した地上局サービス提供



## ドローン事業

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの研究開発を受託、目視外飛行可能なドローン運航管理システムの実現を目指す

ドローンと有人ヘリの実験成功 (2018年3月2日@愛知県)



# 新たな打上げサービスの活用

将来的な打上げコスト削減に向けて、Blue Origin社開発New Glennロケットの採用に関する合意書を締結



©Blue Origin



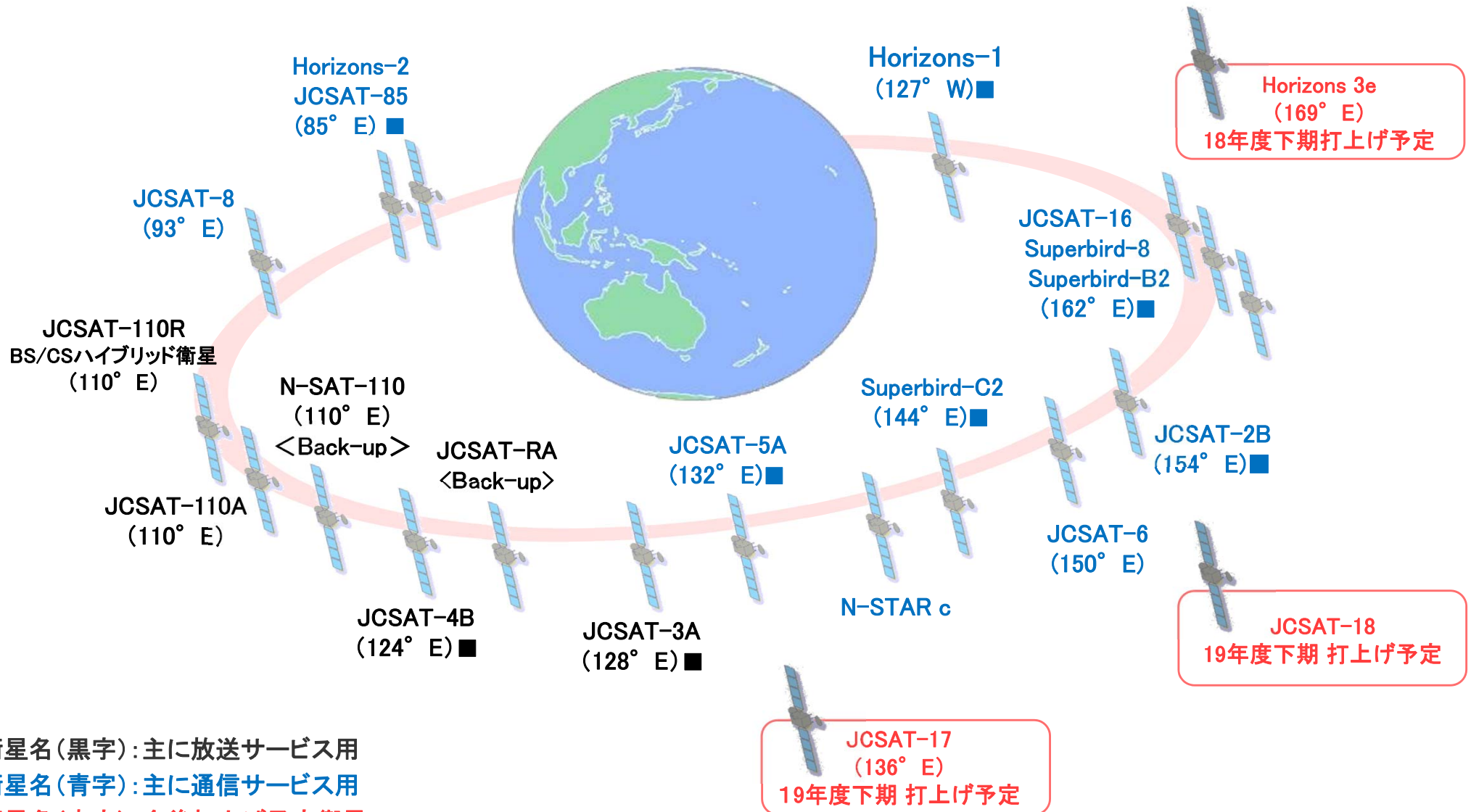
©Blue Origin

# 打上げ予定衛星一覽

Superbird-8/DSN-1は、2018年4月6日(日本時間)に打上げ成功

	Horizons 3e (HTS衛星)	JCSAT-17	JCSAT-18 (HTS衛星)
衛星バス	702MP	A2100	702MP
製造メーカー	Boeing	Lockheed Martin	Boeing
ロケット	Ariane5	Ariane5	Falcon9
打上時期	2018年度下期予定 調整中	2019年度下期予定	2019年度下期予定
軌道位置	東経169度	東経136度	TBD
衛星寿命	15年以上	15年以上	15年以上
目的	海外・モバイル(Intelsat共同衛星)	国内通信提供	海外・モバイル(Kacific社共同衛星)

## 北米上空からインド洋上空まで計**18機**の衛星を保有



衛星名(黒字):主に放送サービス用

衛星名(青字):主に通信サービス用

衛星名(赤字):今後打上げ予定衛星

■:グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

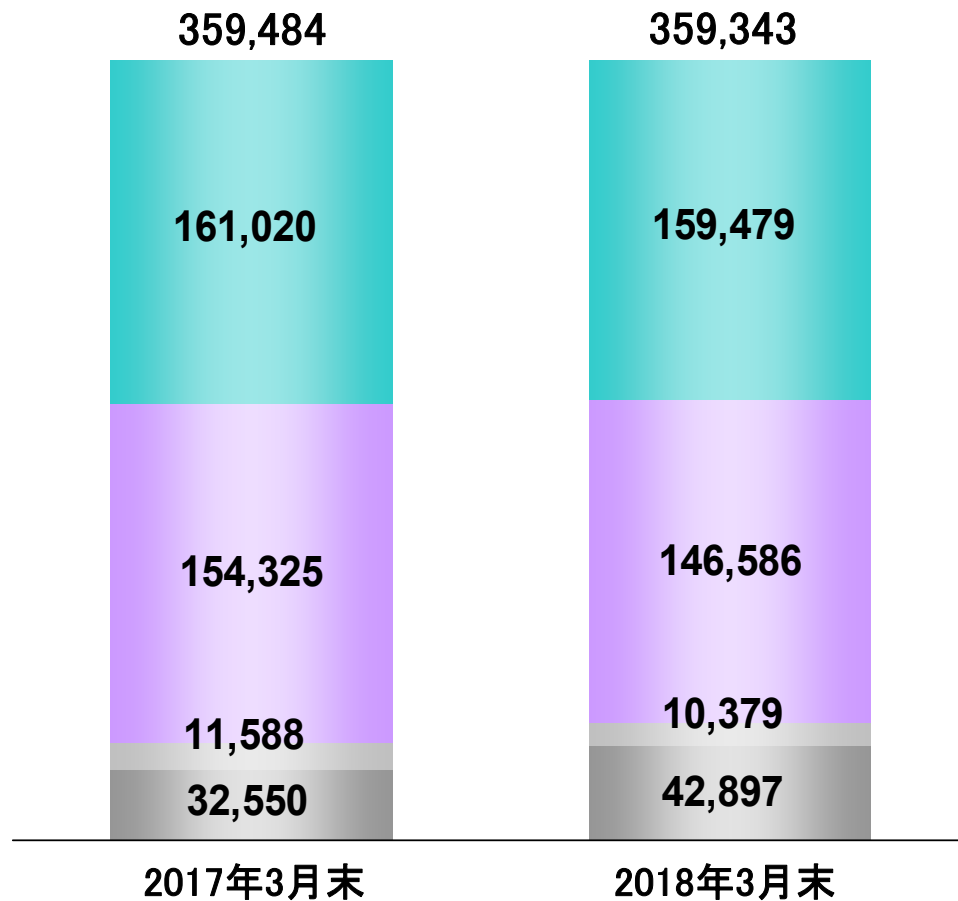
(参考資料)



# 連結貸借対照表

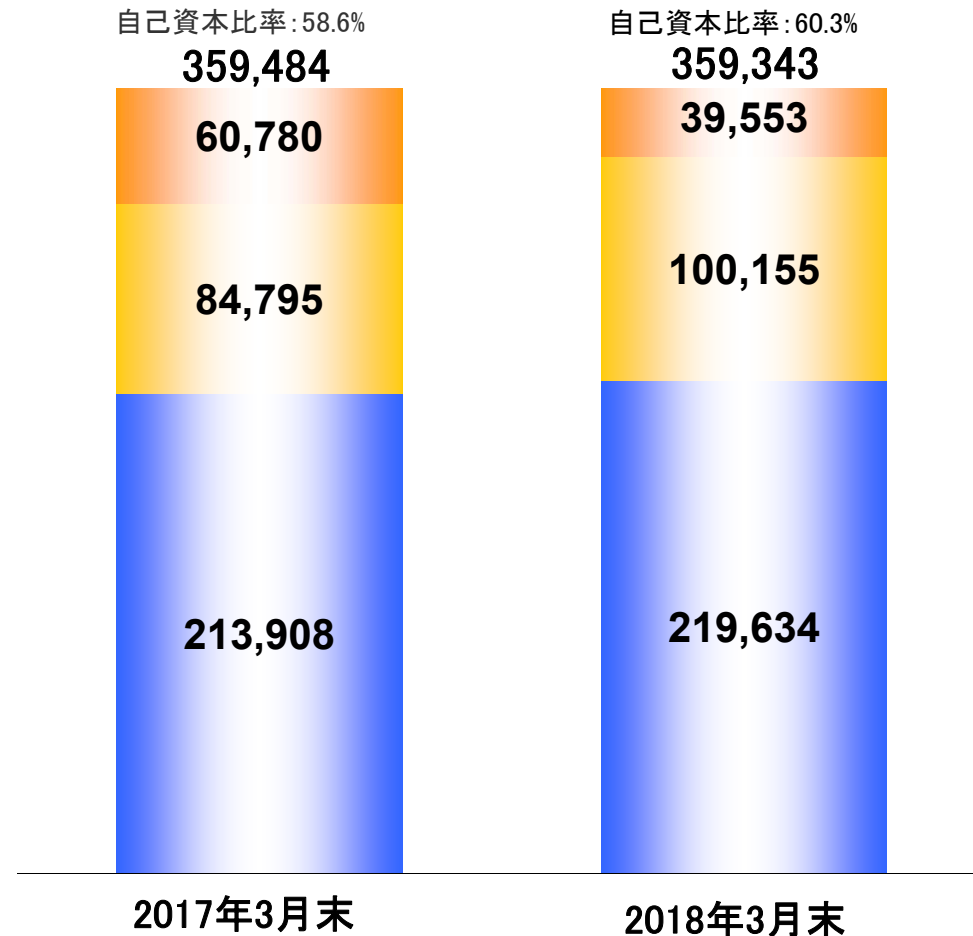
## 資産

(単位:百万円)



## 負債・純資産

(単位:百万円)



■ 流動資産   
 ■ 有形固定資産   
 ■ 無形固定資産   
 ■ 投資その他資産   
 ■ 流動負債   
 ■ 固定負債   
 ■ 純資産

# 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

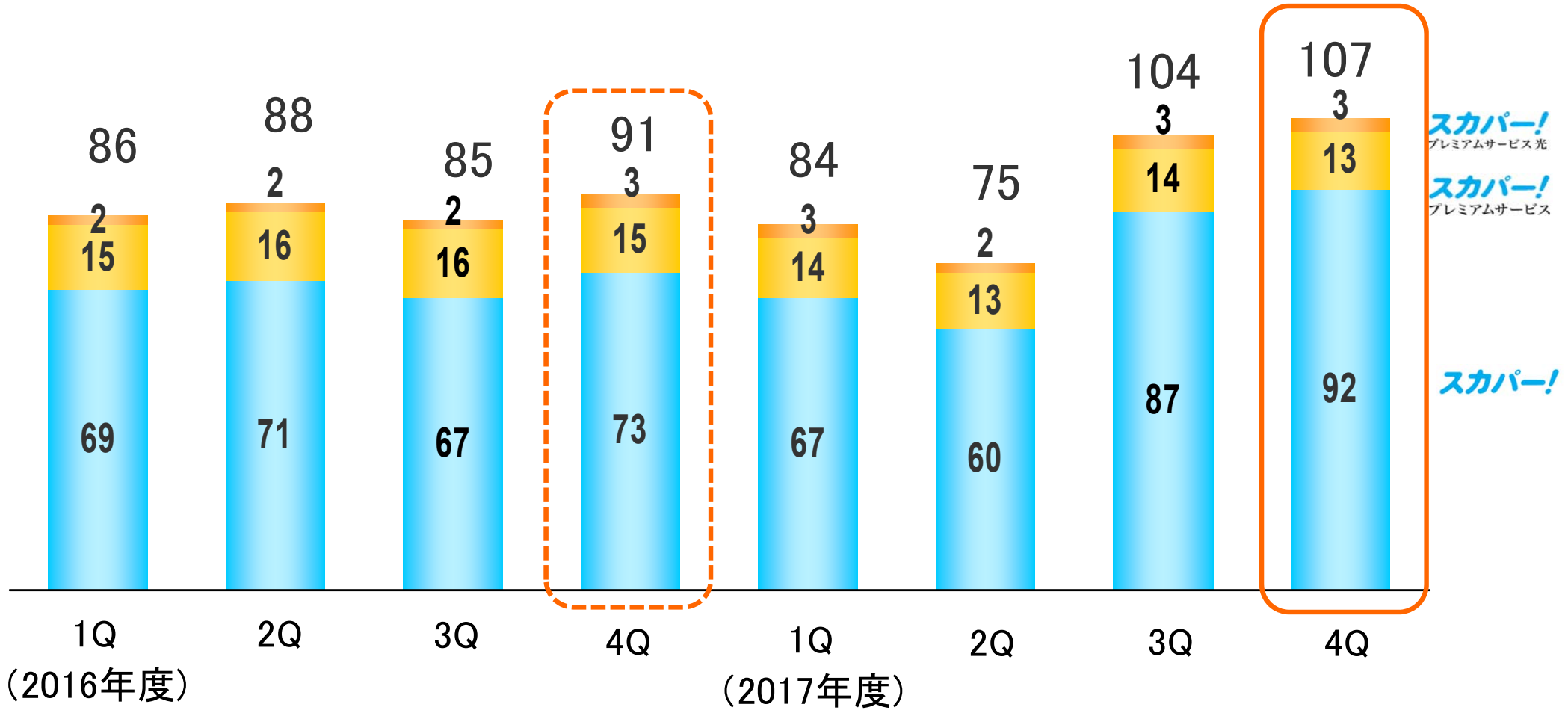
	2016年度	2017年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,029	22,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,882	△27,213
フリー・キャッシュフロー (*1)	△15,853	△4,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,469	4,866
現金及び現金同等物の期末残高(a)	46,150	46,304
有利子負債期末残高 (*2) (b)	82,753	92,767
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	36,602	46,462

\*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

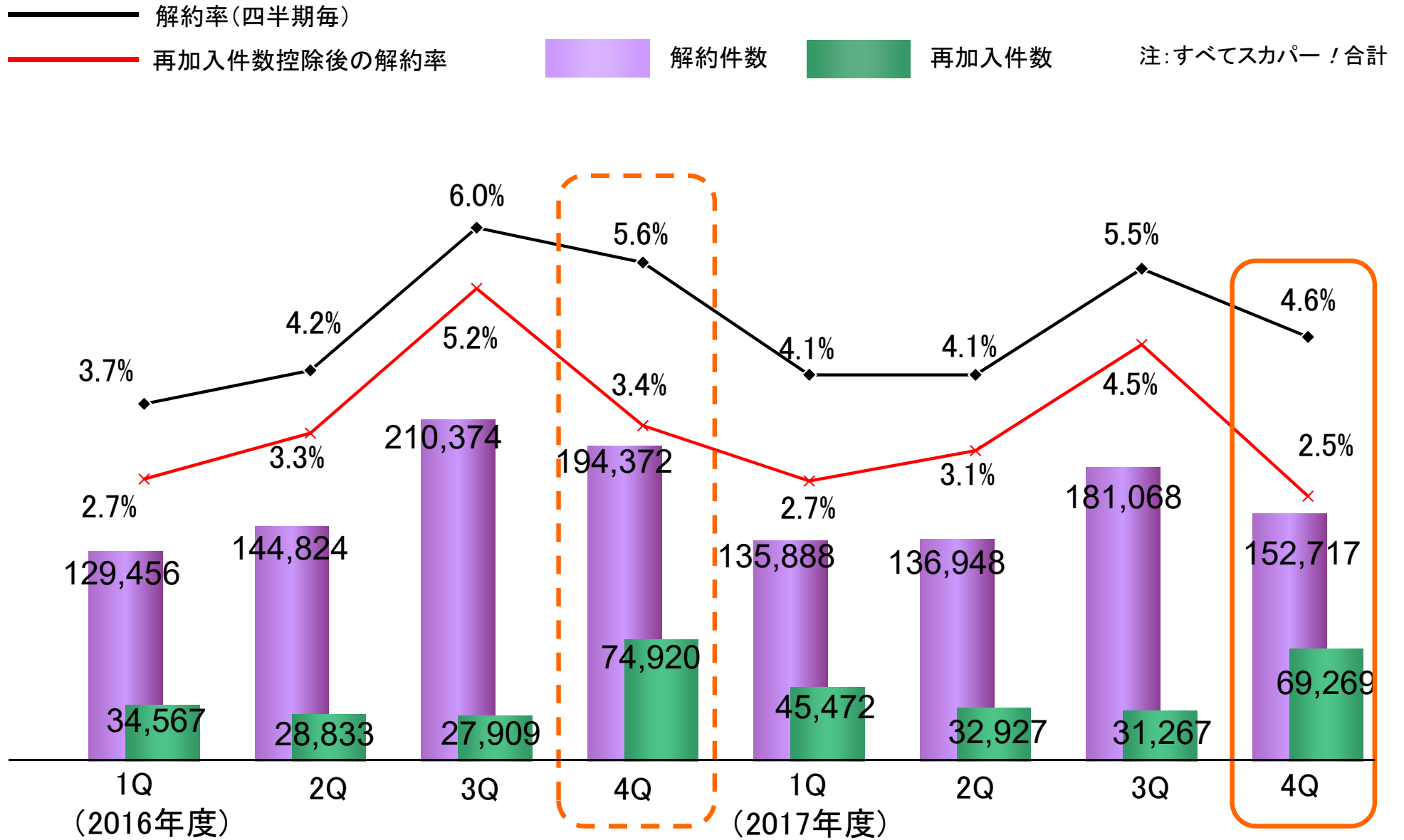
\*2. 借入金＋無担保社債

# 新規加入件数の推移

(単位:千件)

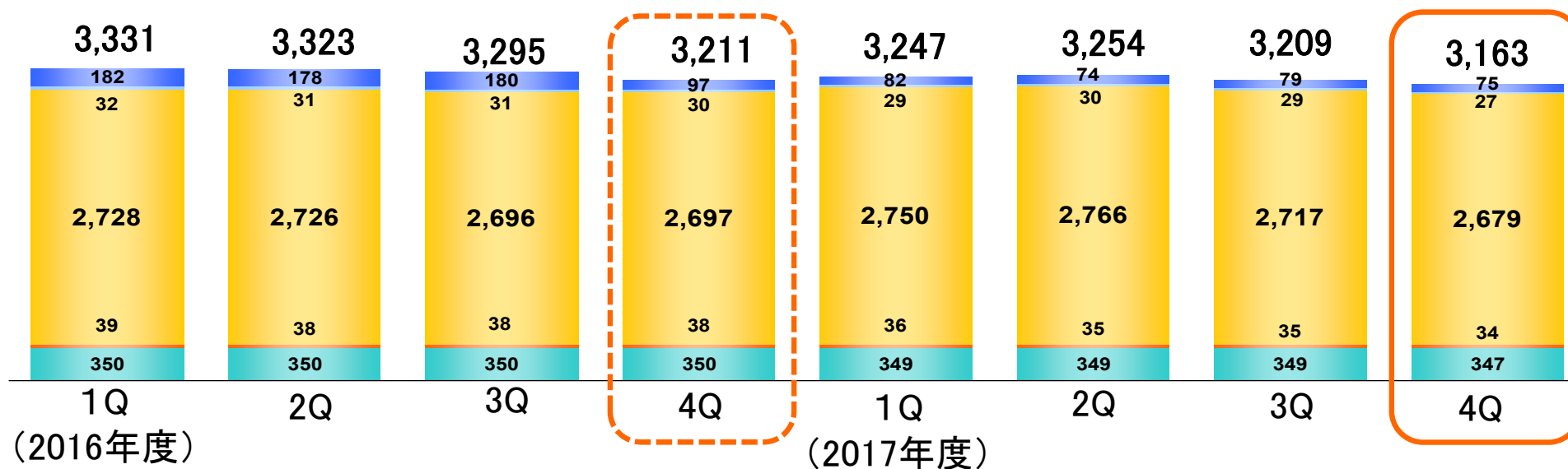


# 解約率の推移

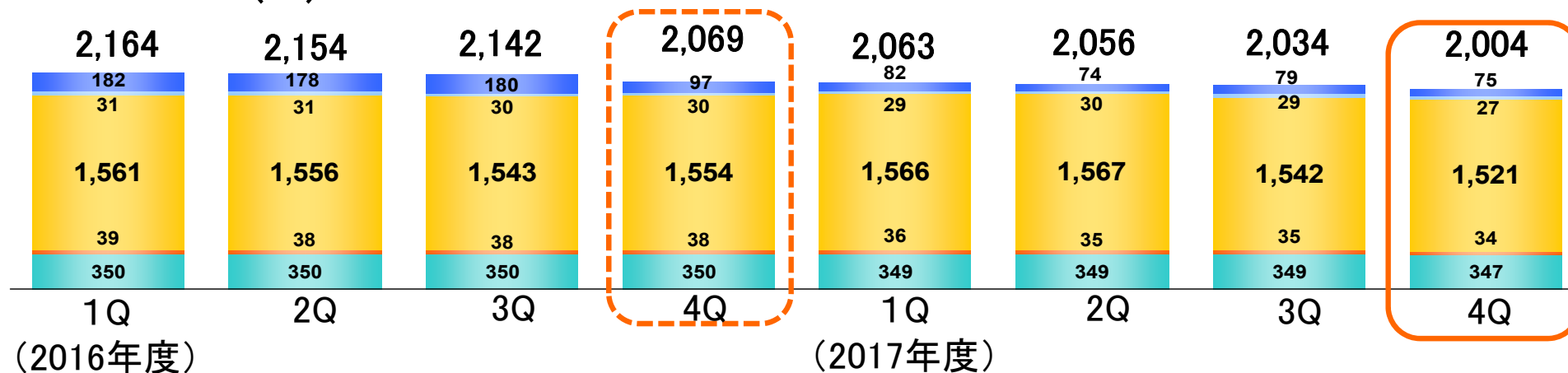


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

## ■ 加入者支払単価(¥) (\*1)



## ■ ARPU(¥) (\*2)



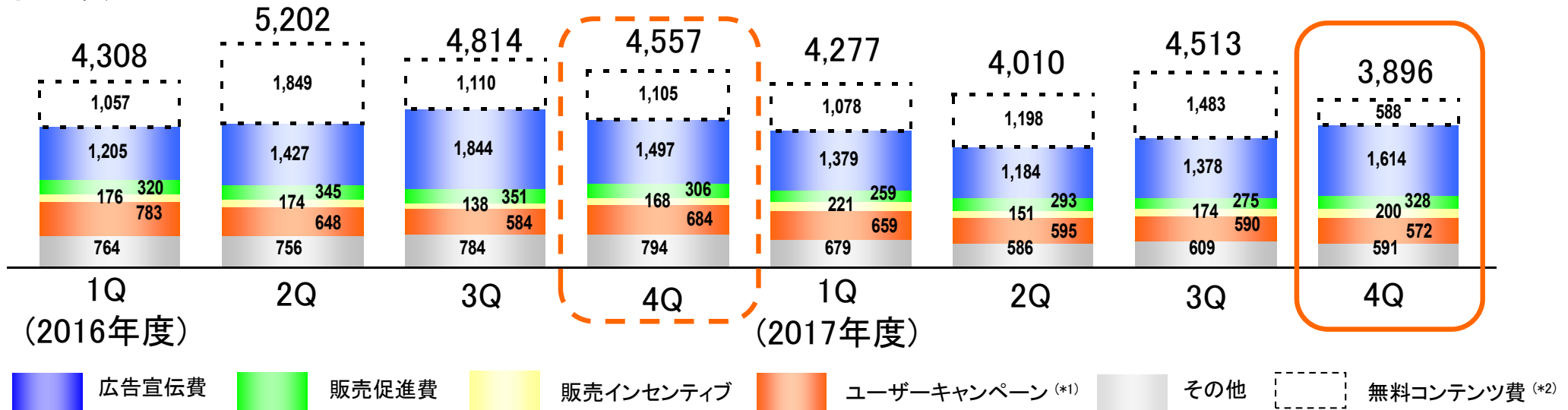
■ 基本料/件   
 ■ レンタル会費/件   
 ■ フラット視聴料/件   
 ■ PPV視聴料/件   
 ■ 自主コンテンツ収入/件

\*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

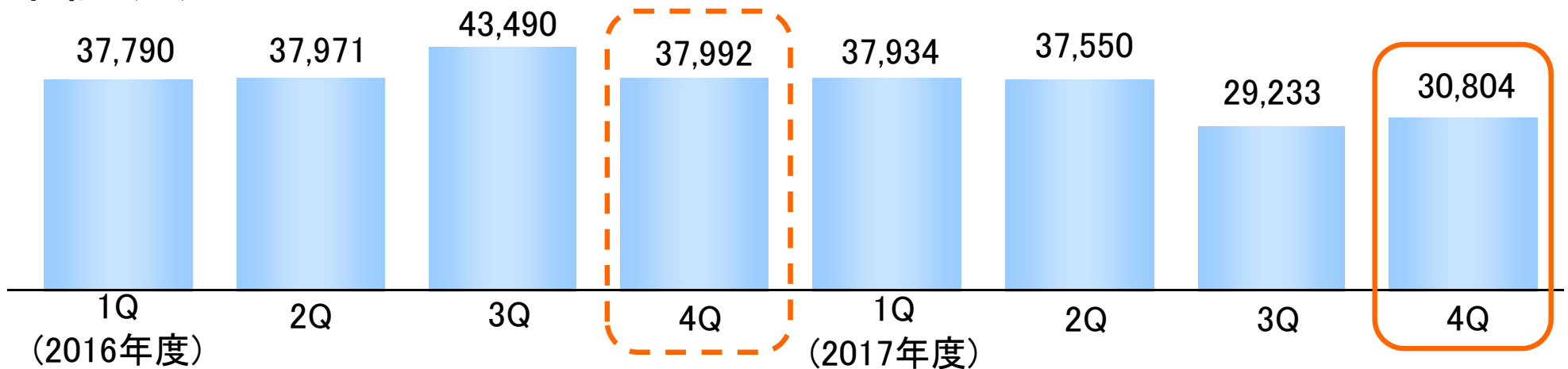
\*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

# 顧客獲得費用(SAC)

## ■ 総額(百万円)



## ■ 単価(¥) (\*3)



\*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

\*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

\*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

# 子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	SNET	JII	JMC	WWJ	ENR
事業内容		放送プラットフォーム・衛星通信	顧客管理	放送事業	コンテンツ制作番組供給	衛星通信回線の再販等	衛星通信回線販売	衛星移動通信サービス	海外向け日本コンテンツ配信	産業用ドローン販売
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3	60	100
営業収益	FY2016/4Q	157,056	6,350	27,704	43,370	3,209	1,721	2,421	502	436
	FY2017/4Q	114,401	6,276	57,316	3,756	3,127	1,986	2,484	386	514
営業利益	FY2016/4Q	22,456	443	701	1,157	△17	295	328	△2,207	△240
	FY2017/4Q	15,696	436	2,089	331	178	455	363	△1,681	△618
経常利益	FY2016/4Q	23,045	444	703	1,162	△21	365	316	△2,206	△179
	FY2017/4Q	16,770	438	2,095	328	178	561	344	△1,677	△479

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPET:株式会社スカパー・エンターテイメント

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

WWJ:WAKUWAKU JAPAN株式会社

ENR:株式会社エンルート

※ 2016年12月1日付けで、株式会社スカパー・ブロードキャスティングが東経124/128度CS放送において行う衛星一般放送業務の事業を、株式会社スカパー・エンターテイメントに吸収分割し承継しております。

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス  
広報・IR部

TEL:03-5571-1515

FAX:03-5571-1760

E-Mail:[ir@skyperfectjsat.co.jp](mailto:ir@skyperfectjsat.co.jp)